

科目名 Course Name	環境指導法 Environment Instruction Method			ナンバリング No.	K3-007		
年次	2年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	川田 将人、市村 弘貴						
連絡方法	C-Learning で対応。または本館3階研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(保育士養成課程必修・幼稚園教諭二種教職課程必修)						
関連 DP	DP3, DP4, DP5						
授業の概要と到達目標	<p>領域「環境」の意義を捉え、人間が生きていくうえで必要な環境に関する基本的知識や保育者に求められる指導法や態度の習得を目指す。</p> <p>① 幼稚園教育要領、保育所保育指針が目指す「保育内容環境」を、適切に考えることができるようにする。</p> <p>② 子どもが周囲の様々な環境に好奇心や探求心を持って関わるができる環境とは何かを物的・人的視点から理解し、具体的指導方法が実践できるようにする。</p> <p>③ 年齢に応じた指導計画の作成ができるようにする。</p> <p>④ 保育教材の適切な選定や使用方法を身に付けられるようにする。</p> <p>⑤ 子どもにとっての遊びの重要性と保育者の関わり方を考え、遊びの環境を構成することができるようにする。</p>						
授業の方法	グループワークを中心とし、実践に即した保育計画の作成や学生同士による模擬保育を行う。また、保育実践を豊かにするための保育教材の製作等も行う。						
学習成果	L01						
	L02	環境が人に及ぼす影響を理解した上で、多角的な視点から適切に子どもと関わるができる。					
	L03	発達段階に応じて必要な、環境構成の理解と実践ができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	発表に対するコメントは、その場で教員、及び聴講学友から与えられる。各課題に関しては、授業内に各自にフィードバックする。						
教科書/参考図書	教科書:①体験する・調べる・考える 領域「環境」(萌文書林)、②平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本(チャイルド本社)						
履修上の留意点やルール等	保育者を目指す者として、目的意識・課題意識を明確にして授業に臨むこと。従って、私語・居眠り・授業に無関係の行動・不参加は「授業参加態度」において減点の対象とする。私語を慎み、真剣に受講すること。事前・事後学習時間の目安は各回45分相当とする。						
担当教員の実務経験	●実務経験:市村 弘貴(職種:幼稚園教諭・児童館館長・幼稚園園長 職歴:16年) 実践現場での多様な経験を、教材研究や環境構成、指導法に活かす。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業で使用する資料・教材の準備に勤しみ、ディスカッション場面では他者の意見を尊重しつつ自分の考えを述べ、模擬保育や発表聴講の際には的確な質問ができることが望ましい。		30		
レポート/作品	評価Sは、指示されたテーマに対して詳細に課題を探求し、内容構成もしっかりしており、課題の要件を十分に満たしていること。		30		
発表	評価Sは、聴講者にわかりやすい構成と発話が意識されていること。十分に準備し、教員・学友からの質問にも的確に答えをもらいたい。			20	
小テスト	15回目に実施予定			20	
試験					
その他					
合計			60	40	

回数		授業計画
1	授業内容	授業概要:シラバスの説明、領域環境について、実習に伴う授業追加について、課題について(川田・市村)
	事前・事後学習	事後学習として、シラバスの読み込みと授業内容をまとめる。
2	授業内容	幼稚園教育要領・保育所保育指針の領域「環境」のねらい及び内容／「環境を通して行う」保育・教育(川田)
	事前・事後学習	教科書①の p22～27 と教科書②の p15～21 を読み、要点の整理をする。
3	授業内容	乳幼児期の環境とのかかわりの特徴(川田)
	事前・事後学習	教科書①の p6～17 を読み、要点の整理をする。
4	授業内容	好奇心や探求心と自然(川田)
	事前・事後学習	自然や風を活かせる手作り遊具やあそびを事前にリサーチし、まとめる。事後は実践を通しての振り返りをまとめる。
5	授業内容	五感を働かせる保育の環境と遊び 自然と風を感じる遊び(川田)
	事前・事後学習	環境的視点を踏まえて活動内容の構想を練り、まとめる。
6	授業内容	事例を通して学ぶ。幼児を取り巻く環境の諸側面、物的環境(市村)
	事前・事後学習	様々な園舎や園環境を調べ、印象に残った物的環境を整理する。
7	授業内容	事例を通して学ぶ。幼児を取り巻く環境の諸側面、人的環境(市村)
	事前・事後学習	保育者の役割と、自分が子どもにとってどんな存在でありたいかをまとめる。
8	授業内容	季節感を味わうー季節の行事と行事の由来(市村)
	事前・事後学習	保育現場で行われている季節行事について事前にリサーチしてまとめる。
9	授業内容	日常生活の中で簡単な標識や文字などに関心を持つこと(市村)
	事前・事後学習	事例の検討から、環境を通した保育について要点をまとめる。
10	授業内容	現代の子どもを取り巻く環境と領域「環境」ー音環境に着目してー(川田)
	事前・事後学習	現代の子どもを取り巻く音環境について調べ、時代背景・地域差・生活ニーズの変化等について比較検討からまとめる。
11	授業内容	子どもと環境、保育室の環境構成(川田)
	事前・事後学習	子どもと環境の関係性を整理し、保育室の構成図を作成する。
12	授業内容	グループ活動による保育計画の作成①(川田)
	事前・事後学習	指導案の作成ー幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を踏まえてー 環境的視点を踏まえて活動内容の構想を練り、まとめる。
13	授業内容	グループ活動による保育計画の作成②(川田) 模擬保育の実施
	事前・事後学習	計画に対しての振り返り、改善点の抽出を行い、記録を残す。
14	授業内容	日常生活の中で数量・図形／標識や文字などに関心を持つこと(市村)
	事前・事後学習	生活の中で好奇心を刺激される事象や物などを、自身の生活の中から整理する。
15	授業内容	小学校との連携 生活科とのつながり 小テスト(川田、市村)
	事前・事後学習	教科書②の p50 を読み、要点の整理をする。配布資料の振り返りをする。